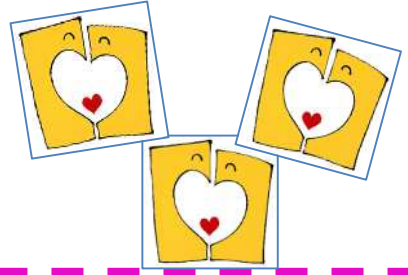


道徳通信

中島中学校 3学年道徳通信 No.1 R7.4.24



3年生のはじめの道徳では「傾聴」と「オープンクエスチョン」について学びました。

傾聴三原則を意識する

- ポイント① 笑顔で聴くことから始める
- ポイント② 相づち、うなずき、称賛を意識
- ポイント③ 相手の発言をオウム返しで繰り返す



- 「うん、うん」 ○「なるほど」
- 「そうだよね」 ○「へえ～」
- 「ありがとう」
- 「そうか、・・・だね」

オープンクエスチョンで議論を深める

- ポイント① 切り返しや問い返しの手がかりとする
- ポイント② 対面の場面での話題を広げるツール（道具）とする



- 「もっと詳しく教えてください」 ○「それはどうしてですか」
- 「例えばどのようなことですか」 ○「それはどのような意味ですか」
- 「わけを教えてください」 ○「どうしてそう思ったのですか」
- 「逆に○○はどうですか」 ○「他にはどうですか」

生徒の振り返りより

答えるのは簡単だったが話を広げるオープンクエスチョンが難しいと感じた。

自分が聴くほうの時はうなずき、共感を意識した。聴かれているときは相手の目を見ながら答え、共感してもらえうれしさを感じた。

聞き手になったときの相づちを意識すると、話し手の内容がわかりやすくなり、質問も思い浮かんだりした。

相づちやうなずきは心を込めないとすぐに相手にばれてしまうことがわかった。僕はこういうことが苦手なのでオウム返していこうと思った。



はじめ、聞き手をしたとき会話が広がらなくて困ったが、話し手をしたときに聞き手の人がたくさんの質問をしてくれたので答えやすかった。それで、自分でも実際にしてみるとうまくいった。

ご家庭でも「傾聴」やオープンクエスチョンについて話し合ってみてください。